

壁を破れ！ 私の決意 〈14〉

かへ やぶ

ニューカレドニア

エマ・マソンさん



入会のきっかけを
教えてください。

私はニューカレドニアで生まれ育ち、高校卒業後、1994年にニュージランドのクライストチャーチにある国立の専門学校に進学しました。その時、ルームシェアした日本人の女子学生が学会員でした。

毎日、聞こえてくる勤行と題目の声―気にならなない訳がありません(笑い)。しかし、嫌だとは思いませんでした。なぜなら、いつも明るく、困ったときには親身になって相談に乗ってく

れる彼女の振る舞いに、「この人のやっていることなら間違いない」と思えたからです。

会合に初めて参加したのは、大好きな祖母が亡くなったとの悲報が届いた直後のことでした。皆が、わが事のように耳を傾けてくれました。

は、家族のような温かさ
に感動しました。95年11月、御本尊を頂きました。

信心を實踐して、
どのような心の変化がありましたか？
それまで、何をやるにしても自信を持てず、い

負けじ魂で人生を開く

あるメンバーは「仏法は永遠の生命を説いている。だから、おぼあちゃんに体に触れたりするのはできないかもしれない」といけれど、南無妙法蓮華經の題目は、必ず届くよ」と励ましてくれ、祖国から離れて暮らす私

学会活動に励む中で、どんどん前向きになっていくのを実感しました。フランス語圏で育った私にとって、英語を公用語とするニュージランドでの生活は忍耐の日々でしたが、信心で鍛えた負けじ魂によって自分自身を



ニューカレドニアSGIの友。南太平洋の樂園と謳われる大地で、創価の哲理を朗らかに広げる(1月、ヌメア市内で)

を得ることができ、現在では、100人の従業員を抱えるヌメア市内のホテルの総支配人として奮闘しています。

―婦人部長としても大活躍されています。

奮い立たせ、専門学校を無事に卒業することができました。
その後、志望していたクライストチャーチのホテルに勤務し、2007年に母国のニューカレドニアへ。懸命に働く中で、上司からも厚い信頼

昨年7月、ニューカレドニアSGI婦人部長の任命を受け、訪問激励、弘教拡大に率先して挑戦しています。現在は、月1回のペースで、婦人部の集いを開催し、池田先生の指導選集『幸福と平和を創る智慧』を研さん。師弟に生きる重要性を学び合っています。また、男女青年部の育成にも、全力で取り組ん

でいます。その中で、6月の座談会には、全てのグループが青年世代の友人を招待することができ、後継こそ宝との心が着実に根付いていると確信しています。

―ニューカレドニアの未来が楽しみですわ！わが国では今、経済の行く末などに対し、不安を抱えている人が非常に多いのが現状です。だからこそ、いかなる状況にあっても、幸福の軌道を進んでいける太陽の仏法が、今ほど求められている時はないと実感しています。

明年の「11・18」を目指し、太平洋に輝く平和の島に、広宣流布の勝利の金字塔を打ち立ててまいります。

プロフィール 1999年入会。ヌメア市内のホテルの総支配人として活躍。ニューカレドニアSGI婦人部長。